

紺碧の空奨学金 募集要項（2027 年度および 2028 年度入学者対象）

早稲田大学では、本学への入学を希望する児童養護施設やファミリーホーム入所者および出身者、また養育里親家庭で育った者のうち、高等学校卒業と同時に退所や委託解除措置となり、支援を受けることができなくなるなど、経済的理由により進学が困難な者に対し、入学前予約採用給付奨学金「紺碧の空奨学金」を設けております。この奨学金は、入学試験前に奨学金を申請し、審査の結果採用候補者となった方に、入学後の奨学金を事前に約束することで、経済的理由から本学への日々の通学および学修、課外活動への参加を躊躇することが無いよう、入学前の就学支援と入学後の経済支援を目的とした制度です。

上記の趣旨を理解した上で、本奨学金を希望する方は、この募集要項をよく読み、以下の申請手続を行ってください。募集要項・申請書は奨学課 Web サイト（[紺碧の空奨学金（入学前に申請する奨学金）](#)）からダウンロードできます。

※入学試験制度、名称等は 2026 年 7 月現在のものです。試験制度は変更となる場合があります。

1. 申請資格

本学の出願資格を満たす者のうち、以下の条件全てに該当すること。（なお、判断に迷う場合には申請書作成前に遠慮なくお問い合わせください。）

- ・ 2027 年度または 2028 年度に本学の学部に入学を希望する者。
 - ・ 奨学金出願時に、①～③のいずれかの状況下にある者。
 - ① 日本国内の児童養護施設に入所している者、または支援終了に伴い退所してから奨学金出願時までの期間が 2 年以内の者。
 - ② 日本国内の養育里親家庭への委託措置を受けている者、または支援終了に伴い委託措置が解除されてから奨学金出願時までの期間が 2 年以内の者。
 - ③ 日本国内の小規模居住型児童養育事業（ファミリーホーム）に入所している者、または支援終了に伴い退所してから奨学金出願時までの期間が 2 年以内の者。
 - ・ 入学後、独立して生計を営む予定の者で、生活困窮のための経済的支援が必要な者。
- ※18 歳以降の措置延長により、大学入学後も児童養護施設やファミリーホーム、養育里親家庭から通学する場合も出願資格を満たしているとみなします。（ただし奨学金額が減額となる場合があります。）

2. 奨学金額・支給期間

- ・ 入学検定料（ただし、大学入試センター主催の大学入学共通テストの検定料は除く）および入学金※相当額を支給。
- ・ 授業料※、実験実習料等、その他諸経費相当額を支給。
 - ※国による修学支援新制度による減免額と合算し、全額相当額となるように調整します。
- ・ 交換留学（早大学費徴収プログラムに限る）希望者には、別途留学支援金を支給。
 - ※支援金額は、月額 8～12 万円 × 留学の期間。金額は渡航先の国・都市による。
- ・ 勉学に専念できるよう家賃補助および生活支援金として月額 9 万円を上限に給付。
- ・ 支給期間は原則として正規の在学中 4 年間までとする。通学実態がないと見做された場合や、成績不振等の理由で在学 4 年間を超えた場合は、本奨学生の資格を失う。
- ・ 本奨学金受給者が、国による [修学支援新制度](#) 等の対象者となった場合、本学は併給を認めるが、家賃補助および生活支援金の額を減額等調整する。
- ・ 入学後の経済状況や支援状況、修学状況が次に該当すると大学が判断した場合、本奨学金（授業料等免除金額および月額 9 万円を上限とした家賃補助および生活支援金）を減額または停止することがある。
 - 外部機関等から経済支援を受けている場合。
 - 経済的に困窮していることが認められなくなった場合。
 - 独立して生計を営んでいることが認められなくなった場合。
 - 大学が求める証明書等の提出が行われなかった場合。

- 修学を継続する見込みがない等の理由により大学が不適当と判断した場合。

3. 採用候補者数

若干名

4. 申請方法

所定の期間に下記提出先まで申請書類を簡易書留またはレターパックで郵送してください。

5. 申請期間

2026年7月6日（月）～2026年9月4日（金）（消印有効）

6. 提出先

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学学生部奨学課「紺碧の空奨学金」係

7. 必要な申請書類

以下①～③の書類を全て揃えてください。不備・不足がある場合は、選考の対象となりません。
※日本語以外の言語の書類がある場合、日本語訳または英訳を添付してください。

- ①早稲田大学「紺碧の空奨学金」申請書（所定様式）
- ②早稲田大学「紺碧の空奨学金」推薦書（所定様式）
- ③早稲田大学「紺碧の空奨学金」経済支援に関する調査票（所定様式）

8. 申請書類の作成方法・注意点

①早稲田大学「紺碧の空奨学金」申請書

項目	作成方法・注意点
全般	記入にあたってはパソコンの使用を認めますが、末尾の署名欄は必ず自筆で記入してください。 各項目で記入欄内に書ききれない場合は別紙（書式自由・A4サイズ）に記入し、添付してください。
1（申請者情報） 2（入所施設等情報）	漏れなく正確に記入してください。大学から申請者に確認することがある場合は、ここに記載された情報を元に連絡します。
3（学歴・経歴）	学歴：中学校卒業以降の学歴を時系列で記入してください。 経歴：自身が中心となり積極的に取り組んだ活動の中で表彰されたものや記録を残したものの、自身の成長につながったことと等があれば、時系列で記入してください。 例） 「高校在学中の部活動でレギュラーとして全国大会出場」、「地域のボランティア活動に貢献し、自治体から表彰」等
4（受験予定）	受験する予定のある入試制度全てに○を記入してください。選択肢にない入試制度を受験する場合は「その他」に○を記入し、入試制度名を分かる範囲で記入してください。 なお、実際に受験する入試制度や学部は申請書に記入した内容と異なっても構いませんが、変更や追加の際には速やかに申し出てください。
5（経済状況）	大学入学後に受ける（受給予定・申請予定のものも含む）奨学金または公的援助があれば記入してください。
6（国の新制度）	本要項「14. 国の修学支援新制度について」を確認のうえ、日本学生支援機構給付型奨学金の申請状況につき当てはまるものに○を記入してください。

7 (学習・課外活動状況)	施設入所以前の事柄も含め、これまでに取り組んできた学習、課外活動のうち、特に興味関心を持って取り組んだことや自身の成長に繋がったことなどを具体的に記入してください。
8 (学習計画・将来の目標)	明確で現実的な将来の目標を示すとともに、その目標を実現するにあたって、なぜ早稲田大学を選んだのか、大学在学中に何をしたいのかを可能な限り具体的に記入してください。また、在学中に留学を希望している場合は、留学を通じて学びたい内容についても記入してください。

②早稲田大学「紺碧の空奨学金」推薦書

項目	作成方法・注意点
全般	入所施設の施設長または職員、養育里親等被推薦者のことをよく知る人物が作成してください。 記入にあたってはパソコンの使用を認めますが、末尾の署名欄は必ず自筆で記入してください。 各項目で記入欄内に書ききれない場合は別紙（書式自由）に記入し、添付してください。
2 (推薦理由)	推薦理由とともに現施設や現家庭以前の事柄も含め、推薦者の知りうる範囲での被推薦者とのかわりについても詳しく記入してください。
3 (推薦者が果たす役割)	推薦者には採用者が入学後卒業するまでの間、生活、就学に関して問題がある場合、課題解決に向けて大学担当者と協働いただけることを期待いたします。推薦者が被推薦者を卒業までどのように支援していくかを可能な限り具体的に記入してください。

③早稲田大学「紺碧の空奨学金」経済支援に関する調査票

- ・記入にあたっては、パソコンの使用を認めます。
- ・現在の経済支援状況および大学入学後の経済支援予定について記入してください。

9. 採用候補者の選考・決定

申請書類に基づき書類選考を行い、選考基準を満たしたものは採用候補者として認定されます。必要に応じ推薦者を交えて Zoom 等を利用したオンラインでの面接選考を行うことがあります。面接を行う場合の詳細は奨学課から別途電話、メール等で通知いたします。

10. 選考結果通知

選考結果は、申請者全員に郵送で通知します。

- ・書類選考結果通知ならびに面接選考を行う場合の通知：9 月末（予定）
- ・面接選考結果通知：10 月中旬（予定）

11. 採用候補者が本奨学生に正式採用されるための条件

採用候補者に決定後、本奨学生として正式採用され、奨学金を受けるためには、以下の条件を満たす必要があります。なお、詳細については、選考結果通知をご参照ください。

- ①出願時に高校 2 年生の生徒は 2028 年度、高校 3 年生の生徒は 2027 年度の早稲田大学入学試験を受験・合格し、入学すること。
- ②高等学校卒業時点で児童養護施設やファミリーホームを退所している者、または高等学校卒業時点で養育里親家庭での委託措置が解除されている者。加えて、退所や解除の時点から奨学金出願時までの期間が 2 年以内であり、2027 年度の早稲田大学入学試験を受験・合格し、入学すること。
- ③入学後、所定期間（入学した年の 4 月上旬）に早稲田大学奨学課で所定の手続を行うこと。

12. 入学後の注意点

- ・採用者には、本学での日々の勉学・課外活動に励むことで、卒業後、社会に貢献できる人物と

なれるよう努力することを求めます。

- ・ 大学は採用者が卒業できるよう奨学金での支援だけでなく、採用者、大学担当者間での2か月に一回程度の面談等での継続的な修学支援を予定しています。
- ・ 推薦者には採用者が入学後卒業するまでの間、生活、就学に関して問題がある場合、課題解決に向けて大学担当者として協働いただけることを期待いたします。
- ・ 採用者と大学担当者間の面談について、推薦者も希望があれば出席することが可能です。
- ・ 入学後、卒業まで奨学生を支援することを目的とし、出席状況、学業成績を必要に応じて確認します。
- ・ 経済支援の一環としてスチューデントジョブ（※）の活用なども可能です。

※スチューデントジョブの概要と職種については以下の学生部 Web サイトからご確認ください。

<https://www.waseda.jp/inst/sjc/offer>

- ・ 入学後の住居の相談については、本学学生寮デスクの紹介が可能です。
<https://www.waseda.jp/inst/rlc/>
- ・ 在学中に海外留学を希望される方は、留学期間中に支給する奨学金を紹介することが可能です。入学後に大学担当者にご相談ください。
- ・ 入学後に本学を中途退学する場合や本奨学生として著しく適正を欠くと認められた場合は、奨学生としての資格を取り消し、受給した奨学金の全額返還を求める場合があります。
- ・ 入学後に休学した場合は、休学期間中は生活支援金の給付は停止となります。

13. 申請にあたっての注意点

- (1) 本奨学金の申請・選考は、入学試験の可否に全く影響いたしません。また本奨学生のための入試制度も設けません。
- (2) 入学試験に係る旅費・交通費は自己負担となります。
- (3) 2027 年度入学試験の採用候補者となった者が、入学試験に合格しなかった場合、採用候補者としての資格を喪失します。引き続き 2028 年度入学試験での入学を希望する場合、あらためて本奨学金に再度出願のうえ、選考を受ける必要があります。
- (4) 2028 年度入学試験での入学を希望する者で、本奨学金の採用候補者とならなかった場合は、申請資格を満たす限り翌年度の本奨学金に再出願することが可能です。
- (5) 申請書に記載されている個人情報、奨学金業務およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏えい・流出・不正利用等がないよう必要かつ適切に管理を行います。なお、個人が特定されないよう統計処理した個人情報を調査等の資料として利用します。予めご了承ください。
- (6) 提出された申請書等はどのような事情があっても返却いたしません。

14. 国による修学支援新制度について

2020 年度から「国による高等教育の修学支援新制度」が始まり、日本学生支援機構が実施する給付型奨学金予約採用制度を通じて、所得に応じた給付型奨学金（年額最大約 91 万円）が支給され、これに連動した授業料免除（最大約 70 万円）がなされます。紺碧の空奨学金では日本学生支援機構給付型奨学金との併給を推奨していますので、必ず国による修学支援新制度へも応募してください。詳しくはご所属の高校に確認してください。

以 上

お問い合わせ先：早稲田大学 学生部奨学課（月曜～金曜 10 時～16 時）
TEL：03-3203-9701／FAX：03-3232-9497
MAIL：gakunai-tantou@list.waseda.jp